

11, 金沢.

25) 櫻井健二, 平井忠和, 水牧功一, 能澤 孝, 藤木 明, 麻野井英次, 井上 博: 抗凝固療法中のアミオダロン追加投与とワルファリン投与量の調節. 第29回抗不整脈薬併用療法研究会, 2002, 12, 東京.

26) 菅原秀徳, 平出 聡, 廣瀬雅代, 加藤陽一, 杉森弘子, 鍵谷聡志, 上野 均, 供田文宏, 泉野潔, 井上 博: 長期腹膜透析後にEPSを発症した1例. 第16回北陸CAPD臨床懇話会学術集会, 2002, 12, 金沢.

27) 水牧功一, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 常田孝幸, 長沢秀彦, 井上 博: 高齢者Brugada型心電図症例の特徴. 第15回心臓性急死研究会, 2002, 12, 東京.

内 科 学 (3)

教 授	渡 辺 明 治
助 教 授	樋 口 清 博
助 教 授 (前)	齋 藤 清 二
講 師	高 原 清 照
講 師	水 林 幸 裕
講 師 (前)	若 峰 泰 文
助 手	峯 加 正 実
助 手	加 北 啓 一
助 手	新 折 吉 朗
助 手	折 村 上 正 成
助 手 (前)	南 部 修 純
技 官	桑 原 芳 二
	弘

◆ 著 書

- 1) Watanabe A.: Reversibility of liver cirrhosis: evidence from clinical and basic research: In Molecular Biology and Immunology in Hepatology. Advances in the Treatment of Intractable Liver Diseases, by Tsuji T., Higashi T., and Meyer zum Buschenfelde K.-H.(Ed.), 113-125, Elsevier, Tokyo, 2002.
- 2) 渡辺明治: 代謝疾患. ウイルソン病. 「今日の治療指針2002版」多賀須幸男, 尾形悦郎監修, 467, 医学書院, 東京, 2002.
- 3) 渡辺明治: 肝硬変の栄養治療. 「Annual Review 消化器2002」戸田剛太郎, 税所宏光, 寺野 彰, 幕内雅敏編集, 150-155, 中外医学社, 東京, 2002.
- 4) 渡辺明治: 病態栄養と栄養治療 1. 消化器疾患, 肝疾患「病態栄養ガイドブック」日本病態栄養学会編, 190-196, メディカルレビュー社, 大阪, 2002.
- 5) 渡辺明治: 栄養素の算出に必要な式. 「病態栄養ガイドブック」日本病態栄養学会編, 420-425, メディカルレビュー社, 大阪, 2002.
- 6) 渡辺明治: 症例のまとめ方. 「病態栄養ガイドブック」日本病態栄養学会編, 400-404, メディカルレビュー社, 大阪, 2002.
- 7) 渡辺明治, 寺本房子: 肝疾患. 食事指導のABC. 「疾患別食事指導の実際」五島雄一郎監修, 中村丁次編集, 日本医師会編, 182-187, 日本医事新報社, 東京, 2002.
- 8) 渡辺明治: 肝・胆道・脾疾患. 第3章 栄養療法の実践: 「看護のための最新医学講座29巻 栄養療法・輸液」武田英二編, 274-286, 中山書店,

- 東京, 2002.
- 9) 渡辺明治: 肝胆膵疾患の病態. 14 肝性脳症. 「Gastroenterology Navigator (用語集)」, 192-193, メディカルレビュー社, 東京, 2002.
 - 10) 渡辺明治: 肝・胆・膵疾患. 肝不全. 「新臨床内科学 第8版」高久史磨他監修, 838-842, 医学書院, 東京, 2002.
 - 11) 渡辺明治: 肝性脳症. 「今日の消化器疾患 治療指針 (第2版)」多賀須幸男, 三田村圭二, 幕内雅敏編, 616-619, 医学書院, 東京, 2002.
 - 12) 高原照美, 渡辺明治: 肝臓の疾患, 肝硬変と細胞外マトリックス. 「病気の形態学」日本臨床電子顕微鏡学会編, 93-98, 学際企画, 東京, 2002.
 - 13) 新敷吉成, 渡辺明治: 栄養, 輸液, 電解質製剤. 63 ビタミン薬・栄養輸液 「治療薬Up-to-date 2002」矢崎義雄監修, 653-656, メディカルレビュー社, 大阪, 2002.
 - 14) 伊藤博行, 渡辺明治: 腫瘍類似性疾患, 図説 消化器病シリーズ3 「肝・胆・膵の画像診断」恩地森一編, 105-113, Medical View社, 東京, 2002.
 - 15) 西野主真, 道野淳子, 樋口清博: 医療機関の課題—輸血検査の改良 固相法における輸血検査の現状. 別冊・医学のあゆみ 「輸血の現状と課題」稲葉頌一編, 120-124, 医歯薬出版, 東京, 2002.
- ◆ 原 著
- 1) Yata Y., Gotwals P., Koteliensky V., and Rockey DC.: Dose-dependent inhibition of hepatic fibrosis in mice by a TGF-beta soluble receptor: implications for antifibrotic therapy. *Hepatology*, 35:1022-1030, 2002.
 - 2) Xue F., Takahara T., Yata Y., Minemura M., Morioka CY., Takahara S., Yamato E., Dono K., and Watanabe A.: Attenuated acute liver injury in mice by naked hepatocyte growth factor gene transfer into skeletal muscle with electroporation. *Gut*, 50(4):558-562, 2002.
 - 3) Fukuta K., Azuma T., Ito Y., Suto H., Keida Y., Wakabayashi H., Watanabe A., and Kuriyama M.: Clinical relevance of *cagE* gene from *Helicobacter pylori* strains in Japan. *Dig. Dis. Sci.*, 47(3):667-674, 2002.
 - 4) Oka Y., Waterland RA., Killian JK., Nolan CM., Jang HS., Tohara K., Sakaguchi S., Yao T., Iwashita A., Yata Y., Takahara T., Sato S., Suzuki K., Masuda T., and Jirtle RL.: M6P/IGF2R tumor suppressor gene mutated in hepatocellular carcinomas in Japan. *Hepatology*, 35:1153-1163, 2002.
 - 5) Nakano T., Inoue K., Hirohara J., Arita S., Higuchi K., Omata M., and Toda G.: Long-term prognosis of primary biliary cirrhosis (PBC) in Japan and analysis of the factors of stage progression in asymptomatic PBC (a-PBC). *Hepatology Research*, 22:250-260, 2002.
 - 6) Azuma T., Yamakawa A., Yamazaki S., Fukuta K., Ohtani M., Ito Y., Dojo M., Yamazaki Y., and Kuriyama M.: Correlation between variation of the 3' region of the *cagA* gene in *Helicobacter pylori* and disease outcome in Japan. *J. Infect. Dis.*, 186(11):1621-30, 2002.
 - 7) Okita M., Sasagawa T., Tomioka K., Hasuda K., Ohta Y., Suzuki K., and Watanabe A.: Habitual food intake and polyunsaturated fatty acid deficiency in patients with liver cirrhosis. *Nutrition*, 18:304-308, 2002.
 - 8) Moriyama Y., Mimura M., Kato M., Yoshino A., Hara T., Kashima H., Kato A., and Watanabe A.: Executive dysfunction and clinical outcome in chronic alcoholics. *Alcoholism: Clinical & Experiment Res.*, 26(8):1239-1244, 2002.
 - 9) Hoffmann TK., Dworacki G., Tsukishiro T., Meidenbauer N., Gooding W., Johnson JT., and Whiteside TL.: Spontaneous apoptosis of circulating T lymphocytes in patients with head and neck cancer and its clinical importance. *Clin. Cancer Res.*, 8(8):2553-2562, 2002.
 - 10) Kunitani H., Shimizu Y., Murata H., Higuchi K., Watanabe A.: Phenotypic analysis of circulating and intrahepatic dendritic cell subsets in patients with chronic liver diseases. *J. Hepatol.*, 36:734-741, 2002.
 - 11) 渡辺明治, 清水幸裕, 峯村正実, 岡田和彦, 伊藤博行, 樋口清博: B型・C型肝炎治療の新たな展開. 5.高ウイルス量のHBe抗原陽性慢性肝炎に対するラミブジンとIFNの併用療法. 犬山シンポジウム, 23:113-118, 2002.
 - 12) 渡辺明治, 山本晋一郎, 高松正剛, 川西輝明, 東 俊宏, 片野義明, 福田吉秀, 熊谷直樹, 寺本房子, 西 玉枝, 中村浩彦, 篠田一三, 田村吉隆:

- 肝硬変例に対する分岐鎖アミノ酸高含有流動食へバスの投与効果. JJPEN, 24 (8):485-495, 2002.
- 13) 樋口清博, 清水幸裕, 安村 敏, 北 啓一朗, 峯村正実, 南部修二, 高原照美, 渡辺明治: 臨床研究—十全大補湯による肝発癌抑制効果の検討: 肝硬変例を対象に. 肝胆膵, 44(3):341-346, 2002.
- 14) 北 啓一朗, 大澤幸治, 渡辺茶登美, 蜜田博子, 斎藤清二, 渡辺明治: 心身症外来治療構造におけるクエン酸タンドスピロン投与の位置づけ 症例研究を通じて. 消化器心身医学, 9(1):59-65, 2002.
- 15) 槇本伸哉, 若林泰文, 長沼甲太郎, 福地将彦, 宮崎孝子, 小川浩平, 品川和子, 岩本真也, 福田加奈子, 折原正周, 渡辺明治: NSAIDs内服とHelicobacter pylori感染が胃粘膜リン脂質に及ぼす影響. 消化器科, 34(2):82-90, 2002.
- 16) 福田加奈子, 東 健, 渡辺明治: H.pyloriのUre I遺伝子. 消化器科, 35(1):15-21, 2002.

◆ 症例報告

- 1) 斎藤清二: 心身症外来プライマリ・ケアにおけるナラティブ・アプローチ—神経性過食症の事例を中心に—. 総合臨床 51:1067-1070, 2002.
- 2) 池田陽子, 経 隆紀, 高島秀樹, 豊田雅彦, 諸橋正昭, 南部修二, 安部貞夫: 多発性の紅色結節を認めたPleomorphic T cell lymphoma. 皮膚のリンフォーマXXI: 70-73, 2002.
- 3) 田島秀浩, 佐々木省三, 中川原寿俊, 藤田秀春, 福地将彦, 伊藤博行, 七澤 洋, 田中三千雄: 酸性洗剤服用による腐食性胃腸炎後癥痕狭窄症の1例. 日本消化器内視鏡学会雑誌 44(1):17-22, 2002.
- 4) 山下重幸, 一木克之, 土岐善紀, 津田基晴, 三崎拓郎, 三原 弘, 矢田 豊, 折原正周, 村上純, 高川 清, 笹原正清: 悪性リンパ腫を合併した乳癌の1例. 中部外科学会38回総会号:122, 2002.
- 5) 矢崎敏之, 斎藤清二, 北 啓一朗, 大澤幸治, 岸本寛史: 母, 長女, 次女にみられた神経性食思不振症の家族内発症例. 診療内科 5(6):433-437, 2001(2001年追加).
- 6) 田澤賢一, 高橋博之, 山岸文範, 鈴木修一郎, 新井秀樹, 原田 武, 加藤 勤, 堀江正樹, 石澤伸, 塚田一博: 大量吐血にて発症した胃悪性リンパ腫の1例. 外科 63(13):1792-1795, 2001 (2001年追加).

◆ 総 説

- 1) 渡辺明治: ヒトにおける門脈栄養法の代謝的効果について. 栄養—評価と治療, 19(1):95-96, 2002.
- 2) 渡辺明治: 腸を考えた栄養治療を. 特集「腸代謝特性からみた栄養治療の効率化」. 栄養—評価

- と治療, 19(1):27-33, 2002.
- 3) 渡辺明治: 栄養評価とは何か. 加齢と栄養評価. Medicina, 39(2):215-217, 2002.
- 4) 渡辺明治: 肝性脳症. 「肝硬変の合併症: 病態解明の新しい視点」. 肝臓, 43(2):77-83, 2002.
- 5) 渡辺明治: 内科診療における呼気生化学的アプローチ. 総合臨床, 51(3):629-630, 2002.
- 6) 渡辺明治: 肝線維化の栄養治療. Pharma Med., 20(5):199-210, 2002.
- 7) 渡辺明治: 高齢者にビタミンと微量元素を補充投与することによって認知機能はどう変わるか. 栄養—評価と治療, 19(2):213-214, 2002.
- 8) 渡辺明治: 肝性脳症. 肝硬変合併症診断のチェックポイント. 臨床消化器内科, 17(7):966-972, 2002.
- 9) 渡辺明治: 肝疾患の診療の進歩. 臨床栄養, 100(7):846-849, 2002.
- 10) 渡辺明治: 病態栄養専門士への期待—臨床現場から. 日本病態栄養学会誌, 5(1):17-20, 2002.
- 11) 渡辺明治, 武田英二, 清野 裕, 立川俱子: 病態栄養専門士とその認定制度. 臨床栄養, 100(6):675-679, 2002.
- 12) 渡辺明治: 栄養治療に用いられるアミノ酸の必要量と安全性. Pharma Med., 20(9):197-212, 2002.
- 13) 渡辺明治: 肝疾患におけるadvanced glycation end products (AGEs) の血中高濃度とその病的意義. Modern Physician, 22(11):1397-1399, 2002.
- 14) 渡辺明治: 肝硬変における小腸病変. Pharma Med., 20(12):201-209, 2002.
- 15) 渡辺明治, D Häussinger, 加藤章信, 森脇久隆, 浮田 實, 松崎松平: Early diagnosis and effective treatment for hepatic encephalopathy—Recent progress and present situation in European countries and Japan (座談会). Med. Tribune, 9月5日号: 61-64, 2002.
- 16) 斎藤清二: コミュニケーションと人間関係の問題の対応. 治療 84:639-644, 2002.
- 17) 斎藤清二: ナラティブ・ベイスト・メディスンと消化器. 心身医学. 消化器心身医学 9:30-39, 2002.
- 18) 斎藤清二: 医師と患者の対話. medicina 13:2035-2037, 2002.
- 19) 斎藤清二: 医学教育の新しい展開, 看護・コメディカルとの共通教育—今後の可能性への提言. 現代医療 34:1621-1626, 2002.
- 20) 斎藤清二: ナラティブ・ベイスト・メディスン

- とカウンセリング. 富山医科薬科大学看護学会誌 4:7-13, 2002.
- 21) 斎藤清二: ナラティブ・ベイスト・メディシンが拓く医療の地平. 隔月刊へるすかうんせりんぐ 5:54-62, 2002.
 - 22) 高原照美, 矢田 豊, 渡辺明治: 線維分解の分子病態. 肝胆膵, 44:577-586, 2002.
 - 23) 新敷吉成, 渡辺明治: 肝疾患と栄養管理. 経腸・静脈栄養の適正使用のポイント. 月刊薬事, 44(9):1687-1691, 2002.
 - 24) 新敷吉成, 渡辺明治: 専門医がすすめる最新処方128; こんな時, この処方-肝性脳症. 今月の治療, 9 (臨時増刊号):S170-S171, 2002.
 - 25) 新敷吉成, 渡辺明治: 経腸・静脈栄養の適正使用のポイント; 肝疾患と栄養管理. 月刊薬事, 44(1):31-35, 2002.
 - 26) 村上 純, 渡辺明治: アミノ酸 その分画. 臨床医, 28(増刊号):984-987, 2002.
 - 27) 楨本伸哉, 若林泰文, 長沼甲太郎, 小川浩平, 宮崎孝子, 岩本真也, 品川和子, 福田加奈子, 折原正周, 渡辺明治: NSAIDsとH.Pylori感染が胃粘膜のリン脂質・構成脂肪酸と疎水性に及ぼす影響. 消化器科 34(2):82-90, 2002.
 - 28) 伊藤博行, 山田一樹, 中村 暁, 七澤 洋, 田中三千雄: 噴出性胃出血の病態と内視鏡的止血クリップ法. 消化器内視鏡 13(12):1751-1755, 2002
 - 29) 坂東 正, 霜田光義, 津田祐子, 長田拓哉, 岸本浩史, 塚田一博, 平野克治, 田中三千夫: アルゴンプラズマ凝固法による食道静脈瘤治療の合併症. 日本消化器内視鏡学会雑誌 44(臨時増刊号):479, 2002.
 - 30) 坂東 正, 霜田光義, 津田祐子, 長田拓哉, 岸本浩史, 塚田一博, 平野克治, 田中三千夫: 食道静脈治療におけるアルゴンプラズマ凝固法の有用性. 日本消化器内視鏡学会雑誌 44:479, 2002.
 - 31) 薄田勝男, 田中三千雄, 野城和彦, 名倉智美, 村上佳子, 折原正周, 若林泰文, 山崎勝也, 菓子井達彦, 斎藤光和, 他: 消化器内視鏡検査治療中のリスクマネージメント 前投薬が呼吸循環機能に及ぼす影響について. 日本消化器内視鏡学会雑誌 43(臨時増刊号):479, 2001(2001年追加).
- ◆ 学会報告
- 1) Ebata K., Masaki Y., Shimizu Y., Shinoyama K., Kim GC., Tsuka M., Kawabata H., Ogawa N., Wano Y., Hirose Y., and Sugai S.: Marginal zone lymphoma complicated with Sjögren syndrome and hepatitis C virus infection. The VIIIth International Symposium on Sjögren's syndrome, 2002, 5, Kanazawa.
 - 2) Ogawa K., Atarashi Y., Yasumura S., Miyazaki T., Iwamoto M., Higuchi K., and Watanabe A.: Sodium butyrate enhances Fas-mediated apoptosis of human hepatoma cells. American Association for Cancer Research 93rd Annual Meeting, 2002, 4, San Francisco.
 - 3) 渡辺明治: Lactoferrinの急性肝不全に対する治療. 厚生科学研究費特定疾患対策研究事業「難治性の肝疾患に関する研究」班, 2002, 1, 東京.
 - 4) 斎藤清二: 心身医療における面接入門 (教育講演). 日本心身医学会教育セミナー (中部支部), 2002, 3, 名古屋.
 - 5) 楨本伸哉, 若林泰文, 長沼甲太郎, 小川浩平, 宮崎孝子, 岩本真也, 品川和子, 福田加奈子, 折原正周, 渡辺明治: NSAIDsとH.Pylori感染が胃粘膜のリン脂質・構成脂肪酸と疎水性に及ぼす影響. 第99回日本内科学会総会. 講演会, 2002, 3, 名古屋.
 - 6) 大澤幸治, 北 啓一郎, 斎藤清二: 長期間頻回の電話に悩まされた虚偽性障害と思われる一例への対応. 第49回日本心身医学会中部地方会, 2002, 3, 名古屋.
 - 7) 岸 達忠, 安村 敏, 折原正周, 南部修二, 若林泰文, 斎藤清二, 渡辺明治: 化学療法が奏功した胃原発neuroendocrine tumorの1例. 第186回日本内科学会北陸地方会, 2002, 3, 福井.
 - 8) 渡辺明治: 肝硬変 最近の話題. 第35回岐阜県内科医会, 2002, 4, 岐阜.
 - 9) 渡辺明治, D Häussinger, 加藤章信, 森脇久隆, 浮田 実, 松崎松平: 肝性脳症の早期診断と効果的な治療について-最近の進歩と欧州諸国とわが国における現状 (座談会), 2002, 4, 東京.
 - 10) 福田加奈子, 東 健, 伊藤義幸, 若林泰文, 渡辺明治, 栗山 勝: *Helicobacter pylori* *cagE* 遺伝子と他菌種におけるvirB4遺伝子のhomology解析. 第88回日本消化器病学会総会, 2002, 4, 旭川.
 - 11) 坂東 正, 霜田光義, 津田祐子, 長田拓哉, 岸本浩史, 塚田一博, 平野克治, 田中三千夫: アルゴンプラズマ凝固法による食道静脈瘤治療の合併症. 第63回日本消化器内視鏡学会総会, 2002, 4, 山梨.
 - 12) 高原照美, 渡辺明治: シンポジウム: 臓器線維症: 肝線維化における肝星細胞の活性化と形質転換. 第33回日本電子顕微鏡学会, 2002, 5, 大阪.

- 13) 多葉田祥代, 樋口清博, 道野淳子, 西野主真, 安村 敏, 渡辺明治: 輸血によるC型肝炎患者の掘り起こしについて. 第50回日本輸血学会総会, 2002, 5, 東京.
- 14) 藤井康彦, 樋口清博, 佐藤伸二, 高松純樹, 山口一成, 高田昇, 池田和真, 布施一郎, 小松文夫, 副作用登録委員会: 非溶血性副作用の臨床経過. 第50回日本輸血学会総会, 2002, 5, 東京.
- 15) 渡辺明治: 日本病態栄養学会認定病態栄養専門士認定制度の意義と規則. 日本病態栄養学会 平成14年度 教育セミナー 東海・北陸地区, 2002, 6, 岐阜.
- 16) 斎藤清二: Narrative Based Medicine (NBM) とEvidence Based Medicine (EBM)-医療を考え直す新しい視点 (教育講演). 第15回日本サイコオンコロジー学会総会, 2002, 6, 東京.
- 17) 清水幸裕: 肝疾患の免疫反応と治療. 日本消化器病学会北陸支部, 第5回教育講演会, 2002, 6, 金沢.
- 18) 高原照美, 薛 峯, 矢田 豊, 峯村正実, 渡辺明治: I型コラーゲン内培養における肝星細胞のMMP-13発現増加におけるシグナル伝達と調節機構の検討. 第38回日本肝臓学会総会, 2002, 6, 大阪.
- 19) 清水幸裕, 國谷 等, 村田浩之, 樋口清博, 渡辺明治: ウイルス肝炎患者の末梢血および肝内樹状細胞サブセットと病態形成. 第38回日本肝臓学会総会, 2002, 6, 大阪.
- 20) 峯村正実, 中山康弘, 平野克治, 清水幸裕, 薛 峯, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: B型肝炎ウイルスcore蛋白による遺伝子発現への影響. 第38回日本肝臓学会総会, 2002, 6, 大阪.
- 21) 新敷吉成, 安村 敏, 小川浩平他: 強心配糖体Oleandrinの肝癌に対する抗腫瘍効果の検討. 第38回日本肝臓学会総会, 2002, 6, 大阪.
- 22) 村田浩之, 清水幸裕, 平野克治, 樋口清博, 渡辺明治, 岡田和彦: 薬剤性肝障害患者末梢血リンパ球のサイトカイン産生と臨床像との関連性. 第38回日本肝臓学会総会, 2002, 6, 大阪.
- 23) 新敷吉成, 安藤孝将, 品川和子, 南部修二, 中山康弘, 峯村正実, 安村 敏, 清水幸裕, 樋口清博, 渡辺明治: 自己免疫性肝炎が疑われた高齢者劇症肝炎の1例. 第28回日本急性肝不全研究会, 2002, 6, 大阪.
- 24) 福田加奈子, 折原正周, 榎本伸哉, 宮寄孝子, 小川浩平, 品川和子, 岩本真也, 長沼甲太郎, 若林泰文, 渡辺明治: *Helicobacter pylori* 薬剤耐性と再除菌の検討. 第94回日本消化器病学会北陸支部例会, 2002, 6, 福井.
- 25) 時光善温, 藤浪 斗, 宮元 歩, 康山俊学: 肝原発neuroendocrine carcinomaの1例. 第94回日本消化器病学会北陸支部例会, 2002, 6, 福井.
- 26) 河合健吾, 齊藤光和, 野本一博, 南村哲司, 大上英夫, 塚田一博, 中本美那, 福地将彦, 宮寄孝子, 峯村正実, 折原正周, 高橋博之: 著明な下血・貧血を呈したクローン病の1例. 第94回日本消化器病学会北陸支部例会, 2002, 6, 福井.
- 27) 河合健吾, 齊藤光和, 高橋博之, 野本一博, 魚谷英之, 大上英夫, 塚田一博, 草場亜矢子, 宮寄孝子, 折原正周: 肝細胞癌・食道静脈瘤の経過観察中に発見し得た胃癌の1例. 第79回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2002, 6, 福井.
- 28) 安藤孝将, 品川和子, 河合健吾, 工藤 浩, 宮寄孝子, 小川浩平, 岩本真也, 福田加奈子, 榎本伸哉, 折原正周, 樋口清博, 渡辺明治, 齊藤光和, 塚田一博, 高野康雄: 異時性多発を来した胃Gastrointestinal stromal tumor (GST) の1例. 第79回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2002, 6, 福井.
- 29) 小野知己, 蓮本祐史, 真野鋭志, 北 啓一郎, 江幡和美, 加藤 勤, 樋口清博, 渡辺明治: C型肝硬変を伴い, 抗CD20モノクローナル抗体 (Rituximab) が奏功した再発・治療抵抗性の濾胞性リンパ腫の1例. 第187回日本内科学会北陸地方会, 2002, 6, 金沢.
- 30) 山崎秀憲, 浅岡悦子, 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上 博, 加藤 勤: 赤芽球癆を合併した重症筋無力症の1例. 第187回日本内科学会北陸地方会, 2002, 6, 金沢.
- 31) 渡辺明治, 梅本俊夫, 本田俊一, 大類 孝, 壇原宏文: 口腔健康学としてのBiogas-歯科と医科の融合 (討論会). 第5回日本呼吸病態生化学研究会, 2002, 7, 大阪.
- 32) 北 啓一郎, 斎藤清二, 大澤幸治, 渡辺明治: 「研修医に求められる能力」に関する質的研究法による仮説生成の試み. 第34回日本医学教育学会, 2002, 7, 東京.
- 33) 岸 遂忠, 江幡和美, 矢田 豊, 折原正周, 安村 敏, 村上 純, 加藤 勤, 樋口清博, 渡辺明治: 小児ALLプロトコールCCG1882 (Children's Cancer Group) による治療を行った18歳のB Precursor ALLの1例 (女性). 第20回日本血液学会北陸地方会, 2002, 7, 金沢.
- 34) 渡辺明治, 清水幸裕: 高ウイルス量のHBe抗原

- 陽性B型慢性肝炎に対するLamivudineとIFNの併用療法. 第23回犬山シンポジウム, 2002, 8, 犬山.
- 35) 渡辺明治: 劇症肝炎治療の現状と課題. 日本内科学会北陸支部 第27回生涯教育講演会, 2002, 9, 富山.
- 36) 渡辺明治: C型肝炎から肝硬変・肝癌へ. 平成14年度富山県看護協会「感染病対策研修会」, 2002, 9, 富山.
- 37) 大澤幸治, 斎藤清二: 母子平行面接を行った摂食障害の中学生. 第21回日本心理臨床学会, 2002, 9, 名古屋.
- 38) 平野克治, 清水幸裕, 中山康弘, 村田浩之, 矢田 豊, 新敷吉成, 安村 敏, 峯村正実, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治, 長田拓哉, 坂東 正, 塚田一博, 霜田光義: 胃癌術後に門脈圧亢進症を呈し繰り返し静脈瘤の再発をきたした1例. 第9回日本門脈圧亢進症学会総会, 2002, 9, 名古屋.
- 39) 三原 弘, 矢田 豊, 朴木久恵, 折原正周, 新敷吉成, 峯村正実, 安村 敏, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 著明な腹部膨隆を認めた多発性肝嚢胞の1例. 第188回日本内科学会北陸地方会, 2002, 9, 富山.
- 40) 山下重幸, 一木克之, 土岐善紀, 津田基晴, 三崎拓郎, 三原 弘, 矢田 豊, 折原正周, 村上 純, 高川 清, 笹原正清: 悪性リンパ腫を合併した乳癌の1例. 第38回中部外科学会総会, 2002, 9, 高山.
- 41) 渡辺明治: 肝臓面より, シンポジウム「糖尿病; 食と消化器からみて」. 日本消化器病学会「生活習慣病における食と消化器に関する小委員会」, 第44回日本消化器病学会大会 (DDW-Japan), 2002, 10, 横浜.
- 42) 宮寄孝子, 新敷吉成, 安村 敏, 小川浩平, 岩本真也, 樋口清博, 渡辺明治, 南村哲司, 塚田一博, 佐藤孝明: 大腸癌転移におけるFas 誘導アポトーシス抵抗性とアポトーシスインヒビターの関与. 第44回日本消化器病学会大会 (DDW-Japan), 2002, 10, 横浜.
- 43) 高原照美, 渡辺明治: シンポジウム: 肝線維化治療のストラテジー: 肝線維化治療の新しい方向性. 第6回日本肝臓学会大会 (DDW-Japan), 2002, 10, 横浜.
- 44) 安村 敏: Lactoferrin のConcanavalin (Con) A誘導急性肝不全に対する治療効果の検討. 第6回日本肝臓学会大会 (DDW-Japan), 2002, 10, 横浜.
- 45) 小方則夫, 島木貴久子, 桑守三千代, 高嶋修太郎, 渡辺明治: ウイルス肝炎対策: B型肝炎ワクチン接種状況, およびHBs抗体評価の問題点. 第40回全国大学保健管理研究会集会, 2002, 10, 東京.
- 46) 西野主眞, 多葉田祥代, 道野淳子, 江口富子, 品川和子, 安村 敏, 三崎拓郎, 村上 純, 樋口清博: 交差適合試験の自動化システムの構築. 第20回日本輸血学会北陸支部総会, 2002, 10, 福井.
- 47) 江口富子, 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主眞, 品川和子, 安村 敏, 三崎拓郎, 村上 純, 樋口清博: 貯血式自己血の現状と看護師から見た自己血採血時の注意点. 第20回日本輸血学会北陸支部総会, 2002, 10, 福井.
- 48) 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主眞, 江口富子, 品川和子, 安村 敏, 三崎拓郎, 村上 純, 樋口清博: 当院における副作用報告の現状について. 第20回日本輸血学会北陸支部総会, 2002, 10, 福井.
- 49) 渡辺明治: 肝不全治療の進歩. 日本内科学会中国支部 第27回生涯教育講演会, 2002, 11, 岩国.
- 50) 愛場信康, 村上 純: 家族内感染が疑われた成人発症サイトメガロウイルス肝炎の1例. 第45回日本感染症学会中日本地方会, 2002, 11, 大阪.
- 51) 平野克治, 清水幸裕, 工藤 浩, 中山康弘, 村田浩之, 矢田 豊, 新敷吉成, 安村 敏, 峯村正実, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治, 蔭山昌成: 進行肝細胞癌に対するリザーバー肝動注化学療法への検討. 第95回日本消化器病学会北陸支部例会, 2002, 11, 小松.
- 52) 渡辺明治: 臨床栄養Update-エージング過程における栄養免疫そしてゲノム創食. 長野市医師会総会, 2002, 12, 長野.
- 53) 矢田 豊, 高原照美, 渡辺明治, Richard A Rippe, David ABrenner: I型コラーゲン遺伝子発現におけるDNase I 高感受性領域の影響. 第16回肝類洞壁細胞研究会, 2002, 12, 東京.
- 54) 岩本真也, 矢田 豊, 折原正周, 宮寄孝子, 小川浩平, 品川和子, 福田加奈子, 槇本伸哉, 坂東毅, 若林泰文, 川口 誠, 樋口清博, 渡辺明治: 胃EUSとPETが原発巣診断に有用であった骨転移性胃癌の1例. 第80回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2002, 12, 石川.
- 55) 榎谷敏孝, 真野鋭志, 北 啓一朗, 江幡和美, 村上 純, 加藤 勤, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 化学療法によりQOLが改善した高齢者悪性リンパ腫の1例. 第13回老年医学会北

- 陸地方会, 2002, 12, 富山.
- 56) 林 万里子, 豊田雅彦, 籠浦正順, 諸橋正昭, 若木邦彦, 加藤 勤: 骨髄線維症に伴い皮膚に骨髄系幼若細胞の浸潤を認めた1例. 第51回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2000, 9, 大阪(2000年追加).
- 57) 堀川直樹, 増山喜一, 島多勝男夫, 田近貞克, 辻 政彦, 野々目和信, 湊谷 功, 菓子井良郎, 舟木 淳, 松能久雄, 野本一博, 塚田一博: 興味ある肉眼形態を呈したEBV関連性sm胃癌の1例. 第77回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2001, 6, 富山(2001年追加).
- 58) 山崎 夕, 篠田千恵, 工藤 浩, 佐藤 啓, 山崎勝也, 笹岡利安, 小林 正, 林 央周, 遠藤俊郎, 奥村昌央, 布施秀樹: 部位診断に難渋し, 腎周囲膿瘍を合併したCushing diseaseの1例. 第184回日本内科学会北陸地方会, 2001, 6, 富山(2001年追加).
- 59) 桑原卓美, 川島猛志, 谷みね子, 坂本純子, 大門良男, 北島 勲, 加藤 勤: 血液細胞画像ファイリングシステムの構成およびその活用. 第2回日本検査血液学会学術集会, 2001, 6, 大阪(2001年追加).
- 60) 堀川直樹, 増山喜一, 島多勝夫, 田近貞克, 辻 政彦, 湊谷 功, 菓子井良郎, 舟木 淳, 塚田一博: 切除可能であった食道癌術後大腸転移の1例. 第250回北陸外科学会, 2001, 金沢(2001年追加).
- 61) 堀川直樹, 増山喜一, 島多勝夫, 田近貞克, 辻 政彦, 湊谷 功, 菓子井良郎, 舟木 淳, 松能久雄, 塚田一博: 大腸内分泌細胞癌の1例. 第250回北陸外科学会, 2001, 9, 金沢(2001年追加).
- 62) 岡本政広, 東山考一, 工藤 浩, 中谷敦子, 青山圭一, 塚田一博: 乳頭全切除術を施行した十二指腸乳頭部腺腫の1例. 第250回北陸外科学会, 2001, 9, 2001(2001年追加).
- 63) 坂東 正, 霜田光義, 津田祐子, 長田拓哉, 岸本浩史, 塚田一博, 平野克治, 田中三千夫: 食道静脈治療におけるアルゴンプラズマ凝固法の有用性. 日本消化器関連週間DDW-第62回日本消化器内視鏡学会総会, 2001, 10, 京都(2001年追加).
- 64) 池田陽子, 高島秀樹, 籠浦正順, 加藤 勤, 平敷貴也: ラニムスチン血管外漏出後の遅発性皮膚障害. 第37回日本皮膚科学会北信越合同学会, 2001, 11, 新潟(2001年追加).
- 65) 河合健吾, 霜田光義, 渋谷和人, 長 誠司, 貫井裕次, 大上英夫, 坂東 正, 齊藤光和, 塚田一博: 血友病Aを伴った難知性食道静脈瘤患者に対してHassab手術を施行した1例. 第25回第二外科集談会, 2001, 12, 富山(2001年追加).
- 66) 吉田 明, 上田孝典, 浦崎芳正, 瀬尾珠美, 和野雅治, 菅井 進, 川瀬 満雄, 加藤 勤, 渡辺明治, 羽場利博, 山崎義亀興, 上田幹夫, 河村洋一, 加川大三郎, 大竹茂樹, 中尾真二, 中村 徹: IdarubicinとMitoxantroneのランダムマイズ非交差耐性多剤併用の理念に基づく成人急性骨髄性白血病の治療. 第39回日本癌治療学会総会, 2001, 11, 広島(2001年追加).
- 67) 松岡二郎, 霜田光義, 河合健吾, 浜名俊康, 坂東 正, 塚田一博: 臍頭十二指腸切除術後の臍管接合部狭窄に対し再吻合術を施行した臍管内乳頭腺癌の1例. 第25回第二外科集談会, 2001, 12, 富山(2001年追加).
- 68) 薄田勝男, 田中三千雄, 野城和彦, 名倉智美, 村上佳子, 折原正周, 若林泰文, 山崎勝也, 菓子井達彦, 齊藤光和, 他: 消化器内視鏡検査治療中のリスクマネージメント 前投薬が呼吸循環機能に及ぼす影響について. 第77回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2001, 6, 富山(2001年追加).

◆ その他

- 1) 渡辺明治: 病態栄養専門士制度を巡って. Med. Tribune, 3515(2002年1月31日号):8, 2002.
- 2) 渡辺明治: C型肝炎から肝硬変・肝癌へ. 医報とやま, 1304号(2002年2月2日号):8-11, 2002.
- 3) 渡辺明治: 特集「腸管代謝特性からみた栄養治療の効率化」. 編集後記. 栄養-評価と治療, 19(1):128, 2002.
- 4) 渡辺明治: 機能性食品科学-食からの創薬, ゲノム創薬. 富山市医師会報, 371(平成14年2月25日号):5, 2002.
- 5) 渡辺明治: Lactoferrinの急性肝不全に対する治療. 厚生労働省特定疾患対策研究事業「難治性の肝疾患に関する研究」平成13度総括・分担研究報告:119, 2002.
- 6) 渡辺明治: 日本内科学会支部紹介. 北陸支部の歩み. 日内会誌, 91(3):1018-1021, 2002
- 7) 渡辺明治: ラジオ短波放送「臨床薬剤師のための輸液・栄養療法シリーズ」. 肝不全の栄養輸液, 15:1, 2002.
- 8) 渡辺明治: ラット初代培養肝細胞とKupffer細胞の混合培養系におけるIGF-IとIGFBPsレベルに及ぼすIL-6の調節作用. 栄養-評価と治療, 19(3):386, 2002.
- 9) 渡辺明治: アルブミン-栄養との関連性について: 事実と神話を区分しよう. 栄養-評価と治療,

19(4):535-537, 2002.

- 10) 渡辺明治：最近の話題 EBM-肝性脳症の治療. Modern Physician, 22(11):1567-1572, 2002.
- 11) 渡辺明治：明日の病態栄養学の発展を目指して. 第6回日本病態栄養学会年次学術集会の開催に当たって. Medicament News, 1747号:11, 2002.
- 12) 渡辺明治：辻先生の退官によせて. 辻 孝夫教授業績集「病める人の心を癒す 私の40年の歩み」. 岡山大学第一内科 同門会会誌, 旭総合印刷, 岡山, 28, 2002.
- 13) 渡辺明治：明日の病態栄養学の発展を目指して. Geriatric Med., 40(12):1798-1799, 2002.
- 14) 斎藤清二：患者さんに安心していただくための医療面接技法. TKC医業経営情報 第97号(12月号):12-15, 2002.

皮 膚 科 学

教 助 講 義	授 師 手 助 助 助 助 技	諸 橋 正 昭	檜 垣 井 浦 田 野 村 島 野 永	正 修 千 正 雅 孝 元 秀 輝 憲	昭 一 尋 順 彦 之 一 樹 彦 治
---------	-----------------	---------	---------------------	---------------------	---------------------

◆ 著 書

- 1) 諸橋正昭：脱毛症。「今日の診断指針第5版」, 亀山正邦, 高久史磨編, 1457-1458, 医学書院, 東京, 2002.
- 2) 諸橋正昭, 豊田雅彦：瘰癧の発症病理。「病気の形態学」日本臨床電子顕微鏡学会編, 165-167, 学際企画社, 東京, 2002.
- 3) 諸橋正昭：漢方治療, 尋常性瘰癧。「今日の皮膚疾患治療指針第3版」斎田俊明, 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一編, 207-208, 643-645, 医学書院, 東京, 2002.
- 4) 諸橋正昭：漢方薬。「皮膚疾患最新の治療2002-2003」新村真人, 瀧川雅浩編, 251-253, 南江堂, 東京, 2002.
- 5) 檜垣修一：丹毒。「皮膚疾患最新の治療2002-2003」新村真人, 瀧川雅浩編, 131, 南江堂, 東京, 2002.
- 6) 檜垣修一：異汗症・多汗症。「Monthly Book Derma No. 60」三原基之編, 7-13, 全日本病院出版会, 東京, 2002.
- 7) 檜垣修一：尋常性乾癬の漢方治療。「21世紀の乾癬とその治療」手塚 正, 川田 暁監修, 128-134, トップンメディカルコミュニケーションズ, 東京, 2002.
- 8) 松井千尋, 諸橋正昭：嗅診から診断へ。「皮膚科プラクティスNo. 13」小野友道編, 262-263, 南江堂, 東京, 2002.
- 9) 松井千尋：自己免疫性水疱症（表皮下水疱症）の最新情報。「Monthly Book Derma No.62」橋本隆編, 34-44, 全日本病院出版会, 東京, 2002.
- 10) 籠浦正順, 諸橋正昭：脱毛とスキンケア。「体の科学. スキンケアの医学」溝口昌子編, 84-87, 日本評論社, 東京, 2002.
- 11) 籠浦正順, 諸橋正昭：Zinsser-Cole-Engman症